



まちづくり団体の取り組み ～こんなことやってます～

守谷市「**松ヶ丘花の輪ボランティアグループ**」「**松ヶ丘七丁目自治会まちづくり部会**」(住宅地と調和の取れた複合施設の誘致、協働による街並景観形成～「花づくりから美しいまちづくりへ」～)

### 新興住宅地玄関街路で花づくり

公共心が薄いと云われる新興住宅地。

まちは放置すると風化すると懸念して街区玄関口の街路樹柵62箇所では花づくりを始め、これが自作の大型木製プランターに代わり、今やまちの玄関口で美しい景観を演出しています。

担い手の花の輪グループは平成13年に結成され、会員34名、うち子供6名が含まれて大人に混じって花の世話をしています。



### 住宅地の中の大規模都市機構所有地

常総ふれあい道路に面し松ヶ丘六・七丁目総面積の約半分を占める8ヘクタールの土地利用次第で良好な住宅地の将来が変わるにも関わらず地元自治体が景観条例や地区計画など有効な政策ツールを持たないのに憂慮した自治会では、平成13年民間まちづくりガイドプランの策定も視野に入れた住民アンケートを実施しました。

ユニークなのは、子供たちも4グループに分かれて白地図に各々の思いを書き込みまちづくりプラン作成に協力してくれたことです。



### 花づくりからまちづくりへ

この大規模用地の利用については、紆余曲折を経て、結局地元住民団体が頑張るしかないと考え、市に協働による街並景観形成を提案、また、平成15年自治会の専門組織としてまちづくり部会を設置、都市計画・環境・商業コンサルタントや弁護士等の個人的な支援を得て、都市機構と守谷市あてに専門的で詳細な開発指導の要望書を提出しました。

さらに、住宅地と誘致施設との環境調和の先導役として大きな庭園のあるハウスウエディング会場を誘致、北イタリア風チャペルや英仏風庭園の設置、外周修景植樹、夢のある環境設定、鉄柵廃止などをお願いし、一緒に街並景観形成、美しい景色づくりを考えました。



### 住民団体による地元協議

続いて都市機構用地で開発計画のあった複合商業施設については、市から開発事前協議に先立ち地元との話し合いを要請して貰い、これを受けてまちづくり部会では10m壁面後退、高さ制限、外壁塗装色調、ファサード景観設計、騒音規制、駐車場の雨水浸透舗装、外周植樹、室外機の屋上設置、ごみ出し規制、歩道拡幅、屋上看板の禁止などに加え、利便性を考えた店舗配置・県下最大の書籍売場(専門書を含む)・書籍売場隣接の軽食喫茶コーナーの設置などを要望、事業者側でも「彼処まできれいに花づくりをされると変な建物は建てられない」と云い、いまや我々住民の自慢の商業施設にもなっています。



### 歩道の拡幅と街路樹補植

ウエディング会場と複合商業施設の前面市道(幅員10m)の片側歩道2.5mについて、美しい景観のあるゆったりとした歩行帯を良好な住宅地のシンボルロードとするため、両者の協力を得て1.0m拡幅が実現、住民団体側は清掃実施を約束しました。

また、行政負担軽減のため住民約40名が出て枯れた街路樹24本を抜根、市長以下の市職員と一緒に街路樹を補植、これで守谷市屈指の美しい住宅地遊歩道が出来上がりです。

今まで花づくりに精を出していた皆が、今でも「花づくりでこんな美しいまちをつくれるなんて信じられない」と云っている位です。



### 街区道路景観形成の総仕上げ

両団体では実はウエディング会場運営会社との間で最初から一つの約束事がありました。拡幅歩道の住宅地側終端、ウエディング会場敷地の外側コーナーの土地約12㎡と電気・水道の提供を要請、これに小便小僧広場をつくりたいと云うものでした。

子供たちや散歩者のための大型ベンチ2基とベルギー・ブリュッセルの街角にある本物のレプリカ銅像を設置、背後のウエディング会場の緑を背景にした、本場よりも美しく、誰もがゆったりくつろげる理想的なゆとり空間を創りたいと云う究極のまちづくりへのこだわりでした。

幸い守谷市と自治総合センターの助成と駐日ベルギー大使館・ブリュッセル首都圏政府駐日代表部の協力で昨年6月20日ベルギー側関係者や守谷市、子供たちも参加して完成披露テープカットが行われました。



### 関東圏有数の優良な住宅地型複合施設

都市機構所有地で最後に残された4ヘクタールにつき、目下まちづくり部会と開発者間で精力的な話し合いが行われ、平成18年3月には斬新な発想の住宅地・広域対応のショッピングモールが開業の予定です。

約1.4km<sup>2</sup>の憩いの広場を軸に生鮮SM、家電など60店舗以上、医療モール、緑化歩道のある広い駐車場、壁面後退や歩道拡幅、外周植樹など周辺の先行施設や住宅地環境と調和の取れた一体的なまちづくりがこれで完成します。

地元住民団体と行政、開発者が知恵を出し合って、住宅地環境の維持増進、新たに仲間になる企業住民との共存共栄、協働による地域づくりによって夢と希望に燃える自慢のまちになりそうです。

### 自分たちでつくるまちと次代への遺産

地元住民団体としては、自ら主導し汗を流してまちをつくったと云う満足感、市と事業者支援や協働、多くの方々の協力で、大店立地法指針の改正や景観法制定の先行モデルを自分たちで創り上げたと云う達成感がありますが、一方では地域住民として果たすべき責任もあり、今後さらに勉強しなければならないことが多々あることでしょう。

でも、今後考えられる住民発議の景観形成重点地区指定や子供たちに愛されている小便小僧広場の維持管理など、次代に引き継ぐべき地域の財産ができ本当に喜ばしいことです。

#### <お問い合わせ先>

〒302-0127 茨城県守谷市松ヶ丘 7-20-8  
 松ヶ丘花の輪ボランティアグループ  
 松ヶ丘七丁目自治会まちづくり部会  
 代表 作部屋 義彦  
 TEL/FAX 0297-20-6577  
 MAIL marbella55jp@yahoo.co.jp